

会 報 《第435号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和4年2月1日

目 次

I 令和4年新春会員交流会	・・・2～5頁
II 特別寄稿	
「日本六古窯 丹波焼の里から」	
兵庫県陶芸美術館 副館長 仲井 敬司 氏	・・・6頁
III お知らせ 行事予定、編集後記	・・・7頁
IV 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度	・・・8頁



I 令和4年新春会員交流会

日時：令和4年1月12日（水） 17：30～19：30

場所：神戸三宮東急 REI ホテル

【会長挨拶】



新年あけまして、おめでとうございます。

本日は、コロナ禍のなかで、2年ぶりの兵庫県建築会新春会員交流会を開催しましたところ、多数のご参加をいただき、心から感謝申し上げます。そして、お集まりの皆さまにとりまして、本年が健やかで希望に満ちた素晴らしい年になりますことを、心からお祈り申し上げます。

さて当会事業も、一昨年から続くコロナ禍のなかで3年目となりました。兵庫県では年初よりオミクロン株に置き換わり急拡大が始まりました。その中で、経済人の一員として、一日も早くコロナ前の経済に戻すこと。そして、ウィズコロナに対応した社会と建築を繋げることが重要と考えていますので、力を合わせて頑張っていきましょう。

また令和4年は、兵庫県建築会が創立75周年を迎えます。これまでご尽力をいただいた歴代会長並びに当会発展に携わって頂いた全ての会員と、この間、ご指導いただいた関係者の皆さまに心から感謝とお礼を申し上げます。私たちは歩を止めることなく、歴史と伝統ある当会としての役割や、今後何をなすべきかを創造する1年にしたいと考えております。

最後になりましたが、本年も理事役員並びに事業推進委員会の皆さまと事務局が一体となって事業を進めてまいります。

会員並びに関係者の皆さまにおかれましては、コロナ感染症終息に向けて万全の対策を取られると共に、当会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。開会の挨拶といたします。

【来賓挨拶】



（兵庫県 荒木副知事）

あけまして、おめでとうございます。兵庫県副知事の荒木でございます。

今年の年末年始、神戸のほうでは比較的穏やかな天候で、皆さま健やかなお正月を迎えられたことと思います。

山本会長からもお話しがありましたが、兵庫県建築会が75周年を迎えられる記念の年であることについて、お祝い申し上げます。

また、ここにご出席の黄綬褒章を受章されました松田様、岡様、国土交通大臣表彰を受賞されました立花様、兵庫県功労者表彰を受賞されました今津様に心よりお祝い申し上げます。

日頃より建築会の皆さまが、建築技術の振興、建築文化の振興と普及に貢献されていることに、心から敬意を表させていただきます。

コロナにつきましては、先ほどまで県の対策本部会議を開催しておりました。基本的な対策は、オミクロン株になってもデルタ株と同様です。今日も配慮していただいておりますが、3密を避けていただく、マスクを着用していただく、そしてうがい、手洗いを励行していただき、熱がある場合は発熱外来等に相談いただくということが基本となります。

昨年は、1年のうち200日以上で、緊急事態措置やまん延防止等重点措置等による規制が行われるなど、県民生活に大きな影響が出ました。

しかし、我々が阪神・淡路大震災で経験したように、いずれコロナも収束いたします。今年をポストコロナ、ウィズコロナの初年度として位置づけたいと思っております。

昨年、新しい知事が誕生いたしました。そうした年でもありますので、様々なチャレンジをしていこうと思っております。

2025年には大阪・関西万博がありますので、そうした機会を捉え、ヒト・モノ・投資というものを兵庫県に呼び込んでくる。阪神間や大阪周辺だけでなく、県内全域に様々な形で取り入れていきたいと考えております。

まちづくりの新規事業を少しご紹介させていただきます。

県立都市公園の利活用に取り組みます。一つは公園のリノベーションを推進します。そしてパークマネジメントによる民間活力の導入を図って参ります。

それから、空き家対策も総合的に推進したいと考えております。また、古民家の再生、さらには今まで個人住宅のバリアフリーを進めておりましたが、健康なお年寄りが集まる場所、例えば宿泊施設などのバリアフリーも進めて参ります。

また、来週の1月17日で震災より27年を迎えます。最近ではコロナのことが喧伝され、あの1月17日のことを忘れておられる方もいらっしゃるかもしれませんが、改めて、あのとき得た教訓、経験をコロナ対策に活かしていきたいと思っております。

結びとなりますが、本日お集まりの方々にとって本年が良き年になりますこと、建築会が益々発展されますこと、そしてコロナを克服して、75周年の楽しい会が開催されますことを祈念申し上げて、お祝いの言葉といたします。



(会場風景)



(神戸市 金本 建築住宅局副局長)

皆さま、あけまして、おめでとうございます。
神戸市建築住宅局の副局長の金本でございます。平素は神戸市行政並びに本市建築住宅行政にご協力をいただき、お礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、市民の皆さま、事業者の皆さまのご協力を得ながら、市全体で取り組んでいるところでございます。オミクロン株につきましては、色々と心配なことがあります。とはいえ神戸のまちづくりを止めるわけにはまいりません。都心ウオーターフロントの再整備、拠点駅のリノベーションなどに取り組んでおまして、バランスの良いまちづくりを引き続き進めてまいりたいと思っております。

神戸市建築住宅局には営繕部門があり、公共建築物の整備に関わっております。今の重点施策はカーボンニュートラルへの対応でございます。これからの公共建築は法定の省エネ基準をクリアするだけではなく、ZEBといいますが、一次エネルギー使用量を大幅に削減しながら、また太陽光発電で創エネにも取り組んでいくことが当たり前の時代になっていくことです。

また木材の利用ということで、脱炭素の意味合いもあり、さらに積極的に取り組むこととしていきます。CLTのモデル事業として取り組みました六甲最高峰トイレという建築物もありましたが、先日兵庫県「人間サイズのまちづくり賞奨励賞」をいただきました。

昨秋完成いたしました西消防署の西神南出張所の建物は、会長の山本設計に御願いしたのですが、1階はRCですが、2階にはCLTを使用する混構造で整備したものです。しかもこのCLTはすべて兵庫県産材を使用しています。

市の建築工事の中で、公共部門が占めますシェアは非常に限られていますので、民間の建築工事におきましても、できるだけ木材を使用していた

だくようにと、神戸市の方でセミナーを企画しております。

1月28日に「森林と都市のミライを考える都市建築セミナー」というテーマで開催する予定ですので、興味ある方は是非ご参加いただきますようお願いいたします。

コロナ禍で、いろいろと原油が上がったり、半導体が入手できないとか、建築業界を取り巻く状況も予断を許さないものがあります。兵庫県建築界の皆さまのご協力を得ながら、何とか難局を乗り切ってまいりたいと考えております。

最後になりましたが、今年1年が皆さまにとって良き1年でありますことを祈念しまして、ごあいさつとさせていただきます。

【 乾杯 大木 副会長 】



新年あけまして、おめでとうございます。

先程来、ごあいさつのなかでもコロナ禍のことが言及されていましたが、この2年ほどはコロナに明け、コロナに暮れた、そういう時代でございました。

しかし、私たちは前に進んでいかなければなりません。

新年のスタートにあたり、皆さまと盃を交わし決意を新たにしていきたいと思います。

それでは、誠に僭越ですが、乾杯の音頭を取らせていただきます。

兵庫県建築会のますますの発展と、今日お集まりの皆さまのご健勝とご活躍を祈念しまして、乾杯



(会場風景)

【黄綬褒賞等受賞者への記念品贈呈】

◎黄綬褒章、兵庫県功労者表彰

松田 隆氏 (一社) 兵庫県建設業協会会長
当会顧問

◎黄綬褒章

岡 栄治氏 (株) 岡工務店 取締役社長

◎国土交通大臣表彰

立花 充氏 (株) ノバック 代表取締役社長

◎兵庫県功労者表彰

今津 由雄氏 今津建設 (株) 取締役社長

(各賞受賞紹介 受賞者への記念品贈呈)



(黄綬褒章受章 松田顧問 あいさつ)



本日は、このような記念品をいただき誠にありがとうございます。記念品をいただいた者を代表して、ごあいさつを申し上げます。

私は、若い頃から数年前までこのような黄綬褒章などには全く無関係な人間だと思っておりました。1年ぐらい前から推薦をいただくようになり、自分もそうなのかと思った次第でした。

この黄綬褒章などをいただいたのも、本日ご集いの皆さま方をはじめ、多くの方々のご指導、また支えをいただいた結果だと思っております。

このような章を頂いたこと、加えてこのような記念品を頂いたことは、今後の励みにもなり、一層頑張りたいと思います。

まだまだ未熟な者ですが、これからもご指導、ご鞭撻をいただきますようお願いしまして、お礼のごあいさつとさせていただきます。

【新規加入会員の紹介】

◎令和3年1月加入

(株)みかた建築事務所

代表取締役 宮本 毅 氏

ご紹介を賜りました、みかた建築事務所の宮本でございます。

社名の由来は、昭和33年に起業いたしました父親の出身地である兵庫県美方郡からいただいております。建築の設計及び土地家屋の測量登記等を営んでおります。

入会させていただいたきっかけは瀬戸本前会長からお声がけいただき、山本会長と吉川組の吉川さんから強くお誘いをいただきました。黄綬褒章受章者の諸先輩にお誘いいただき、大変光栄に思っております。

幸い皆さまの中には、昔からお取引させていただいている企業の方も多くおられ、また青年会議所のOBの方も多くおられますので、居心地の良さを感じております。

今後ともよろしく願いいたします。



(新規加入会員 みかた建築事務所 宮本 氏)

◎令和4年1月加入

ジェイアール西日本コンサルタンツ (株)

取締役兼建築設計本部長 出井 歩 氏

ご紹介をいただきましたジェイアール西日本コンサルタンツの出井でございます。

私どもの会社は、昭和63年に国鉄から JR に変わったときに、鉄道関係のアウトソーシングをするための会社として設立されました。鉄道を通じて地域の皆さまに利便性やまちづくり、安全安心を提供させていただくため、建築、土木、電気、最近では環境とか IT の業務もしております。

コロナのため鉄道も大変傷んでおりまして、今

まで培ってきました経験や技術力というものを鉄道だけでなく、地域の皆さまに貢献が出来るよう模索しております。

今回は、山本会長からお誘いをいただき、参加させていただくことになりました。

まだ民間の仕事は少ないのですが、たくさん勉強をさせていただいて、皆さまのお知恵も拝借し、兵庫県にも貢献できるようになりたいと思っておりますので、よろしく願います。



(新加入会員 JR 西日本コンサルタンツ 出井 氏)

【中締め 川端 副会長】

本日はコロナ禍であります、黄綬褒章を受章されました松田様、岡様、国土交通大臣表彰を受賞されました立花様、兵庫県功労者表彰を受賞されました今津様をお招きし、お祝いをさせていただくとともに、みかた建築事務所様、ジェイアール西日本コンサルタンツ様の新規加入の方々をご紹介できまして、大変喜ばしく思っております。

今後コロナのため色々制限があると思いますが、このような建築の輪を広げる場を積極的に持ちたいと思っておりますので、よろしく願います。

本日はどうもありがとうございました。



Ⅱ 特別寄稿 『日本六古窯・丹波焼の里から』

兵庫陶芸美術館 副館長 仲井敬司 氏

緑色自然釉、赤土部…と聞いて「古丹波」を連想された方は、なかなかの「やきものファン」かと。

約 800 年の歴史をもち、日本六古窯に数えられる丹波焼の里に、兵庫陶芸美術館は立地しています。陶芸文化の創造・交流拠点として開設され、今年で 17 年目の美術館です。紙面をお借りして美術館と丹波焼の里についてご紹介します。



〈美術館の全景〉

1. 田中寛コレクション

当館が設置される契機となり、収蔵品の中核をなす「田中寛コレクション」。但馬の実業家・田中寛氏が蒐集し、兵庫県に寄贈されたものです。

コレクションは総数 901 件を数え、うち 513 件の丹波焼は、平成 29 年に県重要有形文化財に指定されました。筆者の独断で一部をご紹介します。

① ぶくぶく無骨一銘「猩々（しょうじょう）」

コレクションで最も古い鎌倉時代の壺。初期の丹波焼らしい無骨な形状で、胴部の火ぶくれが特徴です。一時、写真家・土門拳氏が「こぶたん」と呼び愛蔵していました。農家の納屋で見つかったときは、粃の貯蔵に使われていたとのこと。暮らしを支えてきた逞しさ、力強さが伝わってきます。



〈丹波焼 壺「猩々」〉

② 素朴な図柄

江戸時代になると、さまざまな装飾が施されるようになりました。

例えば「葉文」。成形したうつわに葉を貼り付け、赤土部や灰釉を塗って焼成することで、写し取られています。ナンテンやカエデ、シダなど地域の植物が装飾として取り入れられています。

また、「釘彫り」により、いきいきと表された魚

の文。一般には頭を左に描くことが多いのですが、丹波焼では全て右向き。理由は不明です。身近な自然を表した素朴な図柄が多く見られます。



〈赤土部葉文壺〉



〈赤土部灰釉魚文甕〉

③ 色もいろいろ

江戸時代には、装飾とともに釉薬や塗土により多彩な色合いのものがつくられました。

最も特徴的な色と言われるのが、冒頭にも記した「赤土部」です。鉄分を多く含む化粧土が焼成により、灼熱の炎を写し取ったような赤褐色の景色を生み出します。

その後、赤土部が釉薬化した「栗皮釉」や、漆黒の「石黒釉」などが生み出されます。そして極めつきが、磁器をまねてつくった「白丹波」です。京焼の技術を取り入れた図柄や造形と合わせ、丹波焼への先入観を超えています。



〈赤土部船徳利〉



〈栗皮釉四方徳利〉



〈石黒釉釘彫梅鶯文徳利〉



〈色絵栗皮文徳利〉

時代のニーズに合わせた多様性に、丹波焼が今日まで続く秘密があるのかもしれませんが。これらの作品は、テーマ展「丹波焼の世界」として常時展示していますので、是非ご覧ください。

2. 陶芸の多彩な魅力を伝える展覧会

当館では年 4 回の特別展を開催。県内陶磁器をはじめ伊万里、マイセンなど内外の陶磁器から現代陶芸まで、陶芸の世界を幅広く紹介しています。今後の予定は次のとおりです。

現在～2/27 やきものの模様
3/19～5/29 オールドノリタケ
6/11～8/28 平井昭夫・三浦徹コレクション
9/10～11/27 ルネ・ラリック
春の「オールドノリタケ」では、国内屈指の若

林コレクションから選りすぐりの 250 件を展示します。ノリタケファンは必見です。

また、秋の「ルネ・ラリック」展は、対象を工芸に広げたガラス工芸の展覧会。陶芸には興味がない方も、この機会にぜひご来館ください。

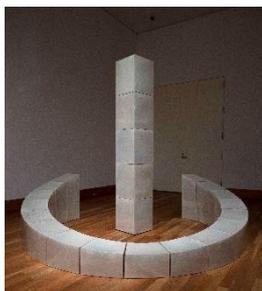


〔 オールドノリタケ
色絵金盛薔薇文飾壺 〕



〔 ルネ・ラリック
大型常夜灯「エニシダの花と枝」
北澤美術館蔵 〕

もう一つ。現在、特別展とともにテーマ展「八代 清水六兵衛展」を開催中(～2/27)です。江戸時代から続く京都の陶家の当代は、大学で建築を学んだ後に作陶の道に進まれました。設計図面を基に複数のパーツで構築された作品からは、建築につながるヒントが得られるかもしれません。



〔 八代 清水六兵衛
Relation 96-A 〕

3. 美術館周辺でものんびり一日

(1) 窯元めぐり

丹波焼の里は、南北約 4 km、東西 0.5km の谷筋に約 60 軒の窯元が集まっています。各窯元には店舗もあって、作品(商品)が陳列されています。同じ丹波焼でも、伝統の技が生きる作品、現代生活にマッチした作品、実用品から創造的な作品まで、バリエーションに富んでいます。のんびり散策しながら、お気に入りの窯元、作品を見つけてください。



〔丹波焼の里マップ 窯元〕

(2) 陶(すえ)の郷

とは言っても、歩いてお気に入りの見つけるのは大変という方は、美術館の南隣にある「陶

の郷」がお勧めです。丹波篠山市が設置し、陶磁器協同組合が運営する施設です。この中の「窯元横丁」には、組合加入の窯元の作品が一堂に展示され、購入も可能です。お気に入りを見つけて、窯元を訪ねるのも一つの方法です。

また、気軽に体験できる「陶芸教室」も開催されています。本格的に取り組みたい方は、美術館で陶芸講座も開催しています。まずはトライ!

(3) 最古の登窯

丹波焼は、中世には穴窯で焼かれてきましたが、近世から登窯に移行し、現在ではガス窯や電気窯が多用されています。しかし、今もめざす作品によって登窯も使われています。

現存する最も古い登窯は、明治 28 年に造られた全長 47m、焼成室が 9 つもある長大な窯です。約 7 年前、陶磁組合や窯元、ボランティア、当館が協力して修復し、概ね年 1 回の公開焼成を行っています。3～4 日間にわたる焼成の最後に、窯の最後尾の通称「蜂の巣」から炎が噴き出す様は、まさに圧巻です。



〔最古の登窯での焼成〕

(4) 陶器まつり

丹波焼の里最大のイベントが、秋の「陶器まつり」です。最近 2 年は、新型コロナ感染防止のため「密」を避け、里全体を会場として約 3 週間にもわたる分散開催となりました。圧倒的な熱気に欠けるものの、じっくり品定めをし、里の秋を楽しむ機会です。里で販売される枝豆も大人気。また、春には「やきものの里 春ものがたり」も開催されます。詳細は当館ホームページで。

4. おわりに

当館キャッチフレーズは「土と語る、森の中の美術館」。周囲は、春は笑い、夏滴り、秋装い、冬眠る里山です。里を一望できる当館デッキからの風景は、「ひょうごの景観ビューポイント 150 選」にもなっています。筆者の一押しは春の新緑。第 6 波が懸念されます。早く元の生活が戻ることを願いつつ、丹波焼の里の普段は「密」とは無縁です。是非皆さんもお訪ねいただき、展覧会、窯元、里山の自然をお楽しみください。

【兵庫陶芸美術館のご案内】

丹波篠山市今田町上立杭 4 TEL079-597-3961

開館時間：10:00～18:00

休館日：毎週月曜(祝日の場合は翌日)

Ⅲ お 知 ら せ

◎行事予定

(次回月例会)

日時：令和4年3月10日（木）
13：00～14：00
場所：神戸三宮東急 REI ホテル
講師：京都工芸繊維大学 名誉教授
武庫川女子大学 教 授
石田 潤一郎 氏
内容：「兵庫の近代建築」

なお、これら行事につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑みて、中止、延期等が想定されます。変更等のお知らせは郵便、メール等でご案内しますのでご了承ください。

◎編集後記

先日気まぐれに、寒風のなか散歩に出かけました。

歩き慣れないためか、30分もしないうちに疲れて、温かいペットボトルのお茶を飲みながら、一休みしていたときのこのことです。

葉を落とした裸の木々がとても美しく感じました。

とかく若葉の頃の青々しさ、紅葉の頃の華やかさが話題になりますが、葉という葉をふるい落とされた冬の木々にも、例えようのない美しさを感じるのには私ばかりではないと思います。

「冬のブナの木々によって醸し出される空間は、
空であって空ではない。そこには大自然の気が漲っている」（伊藤和春）

春の芽吹きに備えて、冬の寒風に立ち向かっている姿は、今現在、私たちがコロナ禍に耐えている姿にも似ている気がしてなりません。

もうしばらく我慢の時期が続くかもしれませんが、必ずやって来る春に備えて参りたいと思っています。

1月12日に開催いたしました「令和4年新春会員交流会」には、コロナ対策でいろいろと制約がある中、多数のご参加頂きありがとうございます。

また、荒木 兵庫県副知事様以下、数多くのご来賓にもご出席頂き、感謝申し上げます。

今年1年皆さまのご協力をいただきながら、会の運営を進めて参りたいと思いますので、よろしくお願いたします。

事務局 : 吉本義幸、石井滝実子
電話 : 078-996-2851
FAX : 078-996-2852
Email : archit-k@axel.ocn.ne.jp



安心をカタチに
兵庫県住宅再建 共済制度
フェニックス共済



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ!**

県内に住宅（戸建て・マンションなど）をお持ちの方に

県内の住宅（借家含む）にお住まいの方に

住宅再建共済

年額**5,000円**で
 再建、補修時等に
最大600万円給付!

※半壊（損害割合 20%）以上

一部損壊特約

年額**500円**で
 補修時等に
25万円給付!

※損害割合10%以上20%未満

家財再建共済

単独加入 年額**1,500円**で
 住宅とセット加入の場合 年額**1,000円**で

購入・修復時に **最大50万円**給付!

※床上浸水・半壊以上

※住宅の被害認定（損害割合）は、住宅の所在する市町が発行する「り災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)
 FAX: 078-362-4082

E-mail jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 検索 **★加入申込書はダウンロードできます★**



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局（簡易郵便局除く）にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です!